

作業療法学科 キャリア教育・実践的職業教育

教育への取り組み状況

現場で活躍できる実践的な作業療法士を目指したカリキュラム編成(139単位、3405時間)となっております。

キャリア教育への取り組み状況

臨床実習及びレクリエーション実習は、病院や施設の協力を得て、実践的な体験を通じて、学習していきます。このような学外での実習は、840時間以上行っています。

1年次より、45時間(1単位)の臨床実習を取り入れ、次の3つを目的と実施しています。

- ①施設全体の概要に施設全体の概要について学習する。
- ②施設における作業療法士の仕事内容と役割を理解する。
- ③患者様(利用者様)とのかかわりの中で、コミュニケーションについて学習する。

2年次では、90時間(2単位)の臨床実習を行います。次の4つを目的として実施しています。

- ①施設全体の概要について学習する。
- ②施設における作業療法士の仕事内容と役割を理解する。
- ③患者様の持つ様々な障害について学習する。
- ④学校で学習したことを実際の臨床場面で部分的に体験する。

3年次では、135時間(3単位)の臨床実習とレクリエーション実習(1単位)を実施しています。評価実習の目的は、次の4つです。

- ①学校で学習した各評価項目を実際の臨床場面で体験する。
- ②各評価項目に対して、適切かつ信頼性のある検査・測定が行えるように学習する。
- ③評価結果をもとに問題点を抽出し、その統合と解釈が適切に行えるように学習する。

また、レクリエーション実習では、レクリエーションを「治療」として利用する方法を構造や集団が果たす役割から学術的に理解する。それに加え実際に利用者様へ提供するという経験をし、経験から得たものを学術的理解に照らし合わせレクリエーションの意義を正しく理解することを最終目標とする。

4年次では、540時間(12単位)の臨床実習を行います。次の4つを目的としています。

- ① 評価結果をもとに治療計画が作成できる能力を習得する。
- ② 作業療法における治療・訓練を実習指導者のもとで習得する。
- ③ 専門職としての「作業療法士」の役割や姿勢を学習する。
- ④リハビリテーション部門の位置付け、作業療法部門の運営・管理について学習する。